

施策マネジメントシート1(平成 31 年度目標達成度評価)

更新日 令和 2 年 6 月 24 日

事業番号 0030000017

総合計画体系	政策No.	04	政策名	暮らしやすく安全で安心なまちづくり	施策主管課	くらし安全課
	施策No.	02	施策名	交通事故のないまちづくり		
関係課		道路課,くらし安全課				

1 基本計画期間(平成 30 年度～ 令和 3 年度)における「施策の方針」 重点施策

・警察、交通安全関係機関や自治会などと連携し、交通ルールを身につける年齢の子どもから高齢者まで、各世代に応じた交通安全教育や啓発を行い、市民の交通安全意識の更なる向上を図ります。

・道路利用者としての自覚とマナーの向上を図るとともに、あらゆる交通環境の中で危険を予測し回避することができるような指導や啓発に取り組みます。

・警察、関係団体と連携し、より効果的・効率的に交通安全施設の整備・保全を行い、通行の安全性の確保に向けてハード・ソフト両面から取り組みます。

2 施策の目的(①対象③意図)と指標(②対象指標④成果指標)等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民、市域							
②対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	市の人口	人	見込み値 実績値	137,935.0	137,193.0	136,807.0	136,807.0	136,807.0	136,807.0
				137,193.0	136,807.0	0.0			
B	行政区画面積	km ²	見込み値 実績値	70.3	70.3	70.3	70.3	70.3	70.3
				70.3	70.3	0.0			
③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		交通事故にあわない、起こさないようにする							
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	人身事故件数(-)	件	目標値	1,116.0	1,083.0	1,050.0	1,020.0	0.0	0.0
			実績値	1,058.0	916.0	0.0			
			達成率	105.5%	118.2%	0.0%			
B	交差点事故件数(-)	件	目標値	464.0	457.0	450.0	440.0	0.0	0.0
			実績値	446.0	409.0	0.0			
			達成率	104.0%	111.7%	0.0%			
C			目標値						
			実績値						
			達成率						
D			目標値						
			実績値						
			達成率						
E			目標値						
			実績値						
			達成率						
F			目標値						
			実績値						
			達成率						

⑤成果指標の測定方法 (実際に成果指標の実績値をどのように把握するのか)	⑥基本計画期間における施策の目標設定とその根拠
A: 焼津警察署発行の「焼津市の交通事故統計」から B: 焼津警察署発行の「焼津市の交通事故統計」から	A: 第10次焼津市交通安全計画(平成28年度～32年度)に基づき算出⇒33年度は減少率から算出した。 B: 第10次焼津市交通安全計画(平成28年度～32年度)に基づき算出⇒33年度は減少率から算出した。

⑦施策コスト (トータルコスト=事業費+人件費)		単位	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	61,538	41,425	17,750	3,850	3,850	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	41,200	26,300	6,000	2,700	2,800	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	84,449	96,720	58,765	80,314	80,214	56,169
事業費計(A)		千円	187,187	164,445	82,515	86,864	86,864	56,169	
人件費	正規	職員従事人数	人区	5.2	7.1	3.9	3.9	3.9	0.0
		職員延業務時間数	時間	9,908.0	13,570.0	7,429.0	7,429.0	7,429.0	0.0
		職員人件費	千円	37,185	64,458	17,213	17,213	13,231	0
		人件費計(B)	千円	37,185	64,458	17,213	17,213	13,231	0
経費		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		経費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)+(C)	千円	224,372	228,903	99,728	104,077	100,095	56,169
この施策の事務事業数		本数	8	8	8	8	8	8	

施策マネジメントシート2(平成31年度目標達成度評価)

(施策名: 交通事故のないまちづくり)

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)

- 【市民】
- ・交通ルールやマナーを守り交通安全に努めます。
 - ・交通事故に直結するような道路や標識等の破損箇所の情報を関係機関へ連絡します。
- 【地域・事業所】
- ・交通安全活動の実施により、交通安全意識の向上を図り、交通事故の防止に努めます。

イ) 行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・関係団体との連携による交通安全啓発活動を実施し、交通事故の防止に努めます。
- ・車両や歩行者の安全な通行を確保するため、交通安全施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理に努め、交通事故防止に取り組みます。
- ・必要に応じた交通安全施設の整備や規制がなされるよう、県や警察などに働きかけます。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化したが。令和2年度を見越して、今後どのように変化するか?

- ・高齢化が進展するに伴い、高齢者の交通安全は歩行者としても、運転者としても、今後さらに重要な課題となってくる事に対して、特に高齢者の運転免許更新検査や講習制度等が強化される。
- ・交通事故防止のための車両の技術革新等がさらに進むことが予想される。

③ この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・自治会からは、本市の交通事故の特徴である交差点事故を抑止するため、カーブミラーの設置要望が増加している。また、道路管理者による交通安全施設(歩道・区画線及び水路への転落防止柵など)の整備や、交通規制(信号機・一時停止標識などの設置)要望が多く寄せられている。
- ・市議会では、令和元年5月に滋賀県で園児らが巻き込まれる交通事故が発生したことを受け、従来の小学校通学路に加え、幼稚・保育園児らの散歩コースや中学校登校路についても、安全対策に関する一般質問がなされている。
- ・自治会から交通安全啓発のための物品の配布要望がある。

4 施策の評価

① 施策の目標達成度(平成31年度の目標と実績との比較)

成果指標名	単位	平成31年度成果指標の達成度			結果
		目標値	実績値	達成率	
A 人身事故件数(-)	件	1,083.0	916.0	118.2%	○
B 交差点事故件数(-)	件	457.0	409.0	111.7%	○
C					
D					
E					
F					

*平成31年度施策の成果指標の達成状況及び要因

A: 達成。2019年の交通事故発生状況は、人身事故、死者数及び負傷者数いずれも減少し、トリプル減という結果であった。
 B: 達成。交差点事故件数においても、前年比△37件という結果であった。
 A、B: 減少の要因としては、道路環境の整備、交通安全思想の普及徹底、車両の安全性の確保など諸施策の推進が図られていることによるものと考え。

※○: 目標達成 △目標をほぼ達成(達成率95%以上) ×: 目標を未達成
 指標名に(-)があるものは、目標値より実績値が低いものを達成とする

② 施策の振り返り(住民と行政の役割分担を踏まえて、施策の目標達成に向けて、基本計画で掲げた「施策の方針」及び「基本事業の取り組み方針」にどのように取り組んだか。)

【交通安全意識の向上】

- ・四季の交通安全運動や自治会及び事業所の無事故・無違反コンクール、交通事故ゼロの日における街頭立哨、交通安全パトロールなど、交通安全対策協議会の構成団体が連携・協働して、年間を通じて広報や啓発活動を実施した。

【各世代に応じた交通安全対策の推進】

- ・幼児から高齢者までの各世代に応じた交通安全教室(329回)や街頭指導のほか、自転車交通教室、自転車マナーアップキャンペーン、高齢者宅訪問(914世帯)を実施した。

【交通事故の起きにくい環境整備】

- ・令和元年6月策定の焼津市子どもを守る緊急対策アクション、自治会からの要望及び通学路の点検結果に基づき歩道及び歩行帯(グリーンベルト)等の整備を行うとともに、道路パトロールや地域からの情報提供による緊急修繕等の安全対策を実施した。また、高齢者の自転車事故を抑止するため、関係団体の代表者や行政関係者などで構成する協議会を立ち上げ、大井川港管理地内に凸部(ハンプ等)を設置して社会実験を行い、対策方法について検討を行った。さらに重大事故を抑止する対策として、大井川地区に環状交差点(ラウンドアバウト)を設置した。

③ 施策の課題(基本計画で掲げた施策の「現状と課題」、「②施策の振り返り」を踏まえて、令和2年度、3年度に向けた施策の課題はなにか)

【交通安全意識の向上】

- ・市民の交通安全意識のさらなる向上につながるよう、警察や関係機関、自治会等と連携して取り組んでいる現行の各種事業を検証し、効果的に実施していく必要がある。

【各世代に応じた交通安全対策の推進】

- ・交差点事故(ワースト6位)、高齢者事故(ワースト6位)、自転車事故(ワースト5位)といった本市の交通事故の特徴に応じた対策及び各年代に応じた対策を講じていく必要がある。

【交通事故の起きにくい環境整備】

- ・児童・生徒の通学路や園児の移動経路等の安全性を確保するため、引き続き交通安全施設の整備や適切な維持管理のほか、経路の検証を行う必要がある。

焼津市